

受動喫煙防止島プロジェクト(H24～H26)

事業の背景

・喫煙率が高い

(壱岐市 男性43.9%、女性15.0% 平成22年長崎県立大学学生調査住民1,252名対象)
(長崎県 男性29.7%、女性 8.5% 平成23年県民生活習慣状況調査)
(国 男性32.4%、女性 9.7% 平成23年国民健康・栄養調査)

・肺がん死亡率が高い

(平成23年人口動態では死因の第1位は悪性新生物で、部位別で肺がんは肝がんと並んで1位であった、平成22年は3位であったが、平成19年から平成21年と3年連続1位)

・公共的施設の分煙が不十分

(壱岐市の公共的施設が不十分と回答した者: 喫煙男性32.2%、非喫煙男性49.4% 喫煙女性44.1%、非喫煙女性54.7% 平成22年長崎県立大学学生調査住民1252名対象)

事業の目的

・平成26年度の国体を機に、受動喫煙防止対策を実施する宿泊施設の増加と壱岐市民の受動喫煙防止対策の意識の向上を目的とする。

H24年度に取り組んだ内容

・受動喫煙防止島プロジェクト会議 2回
・宿泊施設受動喫煙防止対策実態調査の実施(70施設12月) 回収率70%

H25年度に取り組んだ内容

受動喫煙防止島プロジェクト会議 2回
受動喫煙防止対策研修会 1回(63人)
宿泊施設への個別訪問(67/70施設)
受動喫煙防止対策の説明(11回 769人)
普及啓発(ポスター、マグネット、ステッカーの作成・配布等)
壱岐市観光連盟との連携

H26年度に取り組んだ内容

受動喫煙防止島プロジェクト会議 2回
2回目宿泊施設受動喫煙防止対策実態調査の実施(70施設 11～12月) 回収率74.3%
受動喫煙防止推進シンポジウム 1回(124人)
受動喫煙防止対策の説明(10回696人)
普及啓発

評価 共用スペースの受動喫煙防止対策を実施している宿泊施設が増加した。(H24年度36.7% H26年度67.3%)
壱岐市民の受動喫煙防止対策に対する意識の向上が図られた。今後も継続して取り組む必要がある。